

計算書類に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

・該当なし

2. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
 - ・満期保有目的の債券等－償却原価法（定額法）
 - ・上記以外の有価証券で時価のあるもの－決算日の市場価格に基づく時価法
- (2) 固定資産の減価償却の方法
 - ・建物並びに器具及び備品－定額法
 - ・リース資産
 - 所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産
 - 自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法によっている。
 - 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産
 - リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。
- (3) 引当金の計上基準
 - ・退職給付引当金－共済会への積立金
 - ・賞与引当金 －令和6年12月～令和7年5月分引当金

3. 重要な会計方針の変更

・該当なし

4. 法人で採用する退職給付制度

・京都府民間社会福祉施設職員共済会

5. 法人が作成する計算書類と拠点区分、サービス区分

当法人の作成する計算書類は以下のとおりになっている。

- (1) 法人全体の計算書類（会計基準省令第1号第1様式、第2号第1様式、第3号第1様式）
- (2) 事業区分別内訳表（会計基準省令第1号第2様式、第2号第2様式、第3号第2様式）
- (3) 社会福祉事業における拠点区分別内訳表（会計基準省令第1号第3様式、第2号第3様式、第3号第3様式）
- (4) 収益事業における拠点区分別内訳表（会計基準省令第1号第3様式、第2号第3様式、第3号第3様式）
当法人では、収益事業を実施していないため作成していない。
- (5) 各拠点区分におけるサービス区分の内容
 - ア 静原寮拠点（社会福祉事業）
 - 「法人本部」
 - 「診療所」
 - 「施設入所」
 - 「短期入所」
 - イ ようせいの家拠点（社会福祉事業）
 - 「小規模多機能」
 - ウ 地域密着ふなおか拠点（社会福祉事業）
 - 「地域密着施設入所」
 - 「短期入所」
 - 「小規模多機能」
 - エ 有料老人ホーム（社会福祉事業）
 - 「有料老人ホーム」

6. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	168,989,970			168,989,970
建物	1,212,435,612	2,673,000	41,344,088	1,173,764,524
合計	1,381,425,582	2,673,000	41,344,088	1,342,754,494

7. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

・該当なし

計算書類に対する注記

8. 担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりである。

建物	1,173,764,524 円
計	1,173,764,524 円

担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

設備資金借入金	568,460,000 円
1年以内返済予定設備資金借入金	25,672,000 円
計	594,132,000 円

9. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高（貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。）

有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
土地	168,989,970		168,989,970
建物	1,871,190,400	697,425,876	1,173,764,524
建物	46,159,200	12,301,424	33,857,776
構築物	8,241,365	1,393,895	6,847,470
機械及び装置	7,095,600	2,971,281	4,124,319
車輛運搬具	10,263,757	10,263,752	5
器具及び備品	154,648,211	124,151,818	30,496,393
ソフトウェア	6,049,637	6,049,637	
退職共済預け金	1,045,316		1,045,316
差入保証金	10,160,000		10,160,000
その他の固定資産	110,000		110,000
合 計	2,283,953,456	854,557,683	1,429,395,773

10. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高（貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。）

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

(単位：円)

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
事業未収金	122,350,628		122,350,628
合 計	122,350,628		122,350,628

11. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は以下のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
該当なし			
合 計			

12. 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引の内容は次のとおりである。

(単位：円)

種類	法人等の名称	住所	資産総額	事業の内容又は職業	議決権の所有割合	関係内容		取引の内容	取引金額	科目	期末残高
						役員 の 兼務等	事業上 の関係				

取引条件及び取引条件の決定方針等

・該当なし

13. 重要な偶発債務

・該当なし

14. 重要な後発事象

・該当なし

計算書類に対する注記

15. 合併及び事業の譲渡若しくは事業の譲受け

- ・該当なし

16. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

- ・該当なし